

平成29年7月5日
独立行政法人水資源機構
沼田総合管理所

平成29年7月3日 前線に伴う出水で
やぎさわ ぼうさいそうさ
矢木沢ダムは、防災操作を行いました。

防災操作により矢木沢ダムに全量を貯留（約306万³）

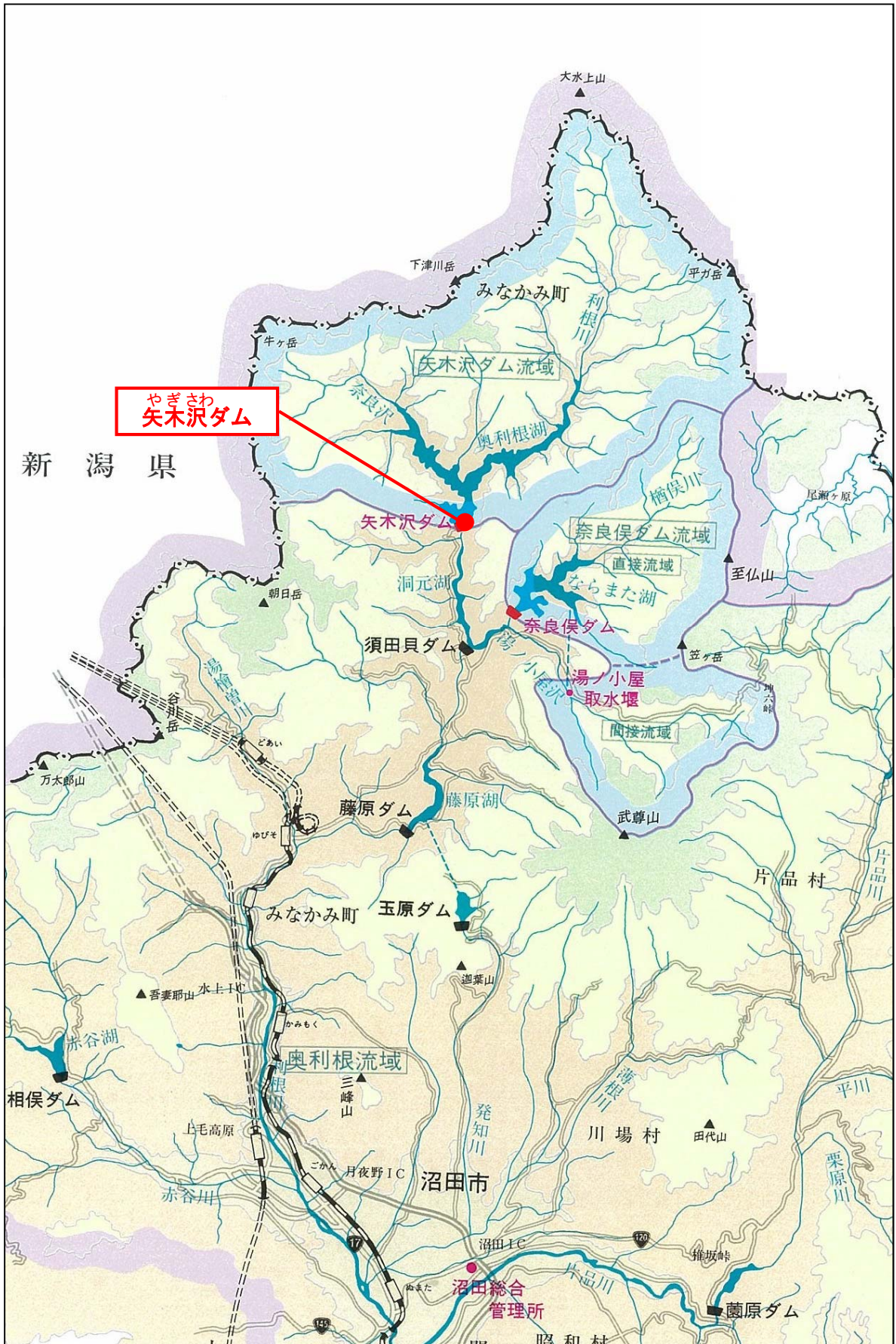
前線によって、ダムへの流入量が増えたことにより、3日5時20分に流入量が洪水量（毎秒100立方メートル）に達したため、防災操作を実施し、ダムに約306万立方メートル、全てを貯留しました。

今後も、矢木沢ダムでは適切に防災操作を実施し、下流地域の洪水被害の防止・軽減に努めていきます。

※防災操作とは、降雨等によりダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流れ出す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。

注) 数値は速報値です。

■位置図



■ 矢木沢ダムの防災操作の状況図

